

京都市生物多様性プラン(2021-2030)の 推進に係る活動交流会

令和4年2月
環境管理課

京都市における生物多様性の施策

京都市生物多様性プラン（2021-2030）

《2050年のあるべき姿》

自然を慈しみ、自然に感謝し、自然と共に、京都の暮らし・文化・産業が継承・発展される「自然共生のまち・京都」

《 2050年までに達成すべきこと 》

視点1 生物多様性の持続可能な利用

- 文化や生活を継続するために必要な生態系サービスが回復し、自然のバランスを保ちつつ、持続的に利用されている。
- 地球温暖化への適応や防災・減災等の様々な社会的課題に対し、自然が持つ機能を十分に活用する。

視点2 生物多様性の保全・回復

- 人為的な原因により生態系・種・遺伝子の多様性の損失が一切行われない状況になっている。
- 世界の平均気温の上昇を1.5℃以下に抑え、地球温暖化による生物多様性への影響を最小限に回避する。

視点3 ライフスタイルの転換

- 一人ひとりが自然を身近に感じ、生物多様性の問題を「自分ごと」として認識する。
- 一人ひとりが生物多様性の持続的な利用と保全・回復のために行動・選択している。

視点4 社会変革に向けた仕組みの構築

- 社会経済活動において、生物多様性の持続的な利用と保全・回復が組み込まれている。
- 各主体がそれぞれの立場で生物多様性保全の担い手として活躍している。

達成項目：具体的な目標の到達点
施策：各目標に基づく取組の方向性

《 2030年度までの目標・施策 》

目標1 京都らしさを支える生物多様性の持続可能な利用を図る

達成項目

- 1 京都の文化を支える生物資源を持続的に利用する。
- 2 自然が持つ多様な機能を活用して、都市のレジリエンスの向上を図る。
- 3 生物多様性を活用した持続可能な観光を促進する。

施策

- 1 文化を支える生物資源の持続可能な利用
- 2 自然の持つ機能を活かした緑と水辺の整備
- 3 サステナブルツーリズムの推進

目標2 生息・生育地と種の多様性を保全・回復する

達成項目

- 1 多様な動植物が見られる重要な生息・生育地の環境を改善する。
- 2 里地里山の生物多様性の劣化を食い止め、回復を図る。
- 3 種の絶滅を食い止める。
- 4 生態系や人の健康、農林業に被害を及ぼす外来生物の拡大を防止するとともに、新たな定着を阻止する。
- 5 海洋汚染につながる河川のプラスチックごみを削減する。
- 6 地球温暖化を緩和する。

施策

- 1 重点保全地域における保全強化
- 2 里地里山の保全・回復
- 3 希少種の保全・回復
- 4 外来生物対策
- 5 プラスチックごみへの対策
- 6 地球温暖化に対する緩和策と適応策の推進

目標3 生物多様性に配慮したライフスタイルへの転換を図る

達成項目

- 1 生物多様性に配慮した消費行動が広がっている。
- 2 一人ひとりが自然を身近に感じ、暮らしている。
- 3 一人ひとりが生物多様性とのつながりを認識している。
- 4 一人ひとりが生物多様性のために行動している。

施策

- 1 エシカル消費の推進
- 2 自然とのふれあいや学習の機会の充実
- 3 生物多様性の学びの拠点の充実

目標4 社会変革に向けた仕組みを構築する

達成項目

- 1 生物多様性に配慮した経済活動を促進する。
- 2 生物多様性保全のための活動を支援する。
- 3 生物多様性に関する情報の集約・発信力を強化する。
- 4 生物多様性の現状を把握するための知見を集積する。

施策

- 1 生物多様性に配慮した企業活動の促進
- 2 公共施設・事業における配慮
- 3 生物多様性保全のネットワーク形成
- 4 情報の集約・発信
- 5 知見の集積

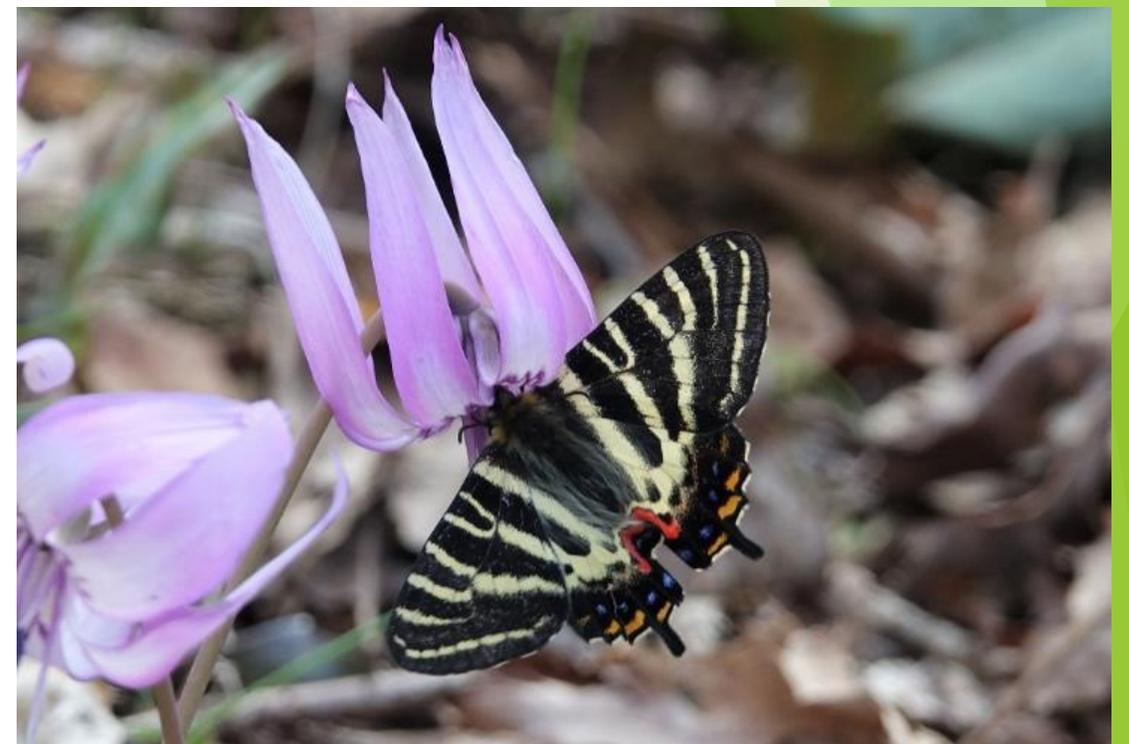
京都市生物多様性プラン（2021-2030）

～目標1：京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度の拡充～

- ▶ **京都の祭りや文化を支えてきた生きものの保全・再生のための取組**を認定
 - ・ 28件を認定，236団体で取組を実施（令和4年1月末時点）
- ▶ 同取組を全市的に拡大するため，**個人でも参加できる仕組み**を検討中



フタバアオイの奉納式「葵里帰り」



ギフチョウとカタクリの保全活動@小塩山

京都市生物多様性プラン（2021-2030）

～目標4：京の生きものの生息調査～

- ▶ 市民の皆様に参加いただき、市内で見られる生きものの生息状況を把握するとともに、本市の緑や水辺の豊かさ等の自然環境の現状を評価する



ツバメ



ハグロトンボ



セミ

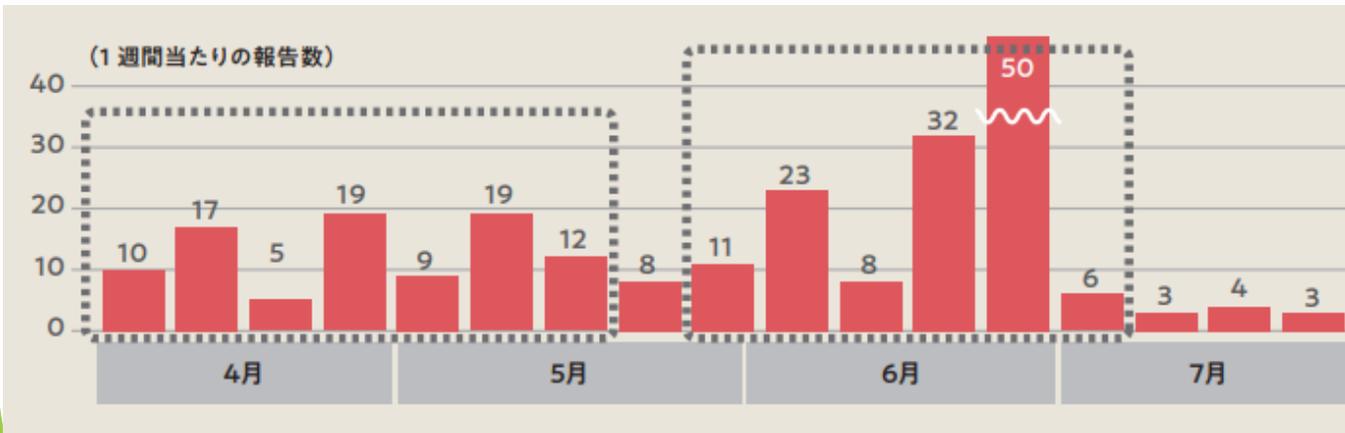


ウグイス

京都市生物多様性プラン (2021-2030)

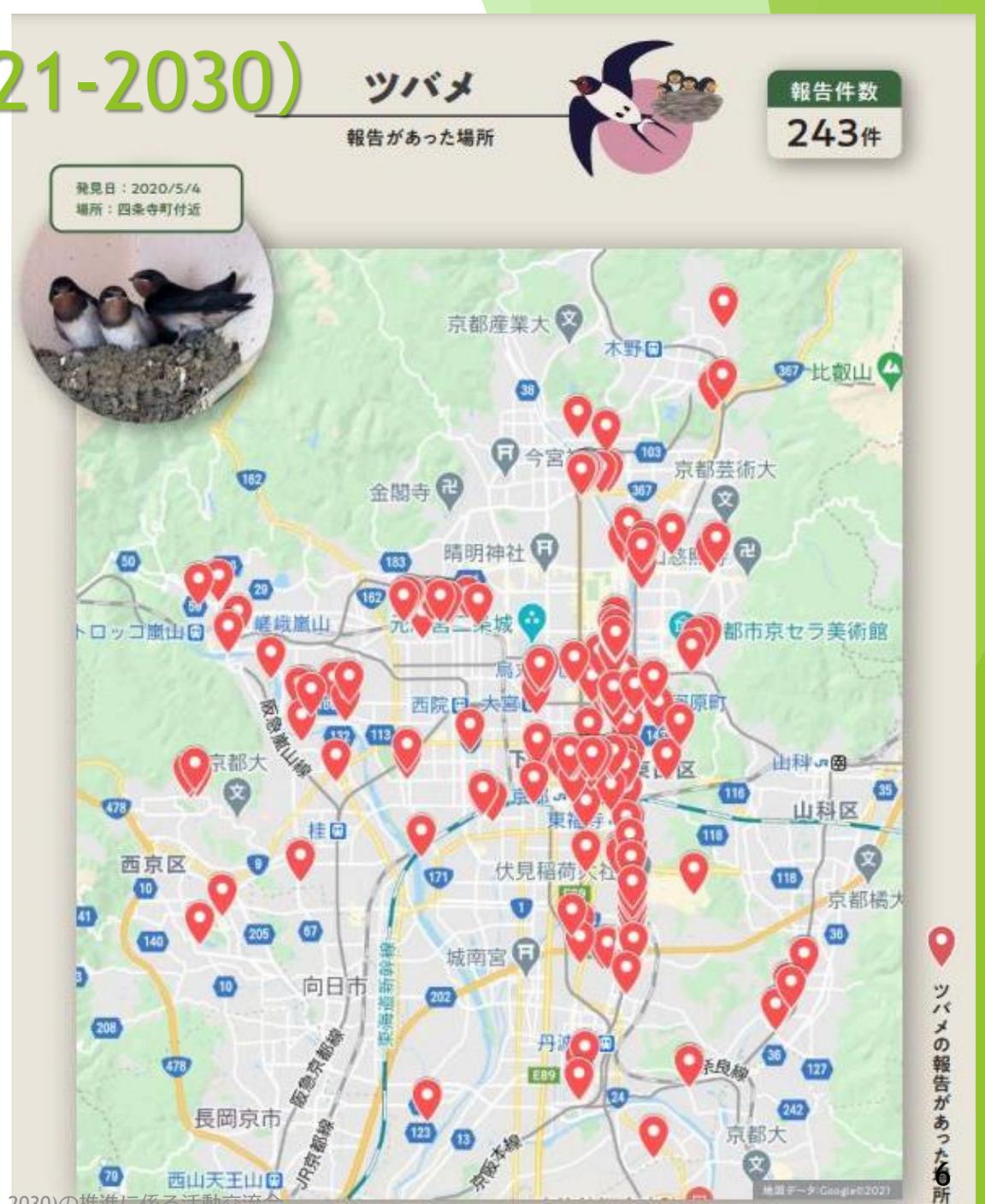
～目標4：京の生きものの生息調査～

▶ 令和2年度の調査結果 (抜粋)



【調査から分かること】

- ・ 鴨川を中心に，市内広い範囲で報告
- ・ 山中や里地より市街地が多い
- ・ 4月，6月に報告が多い

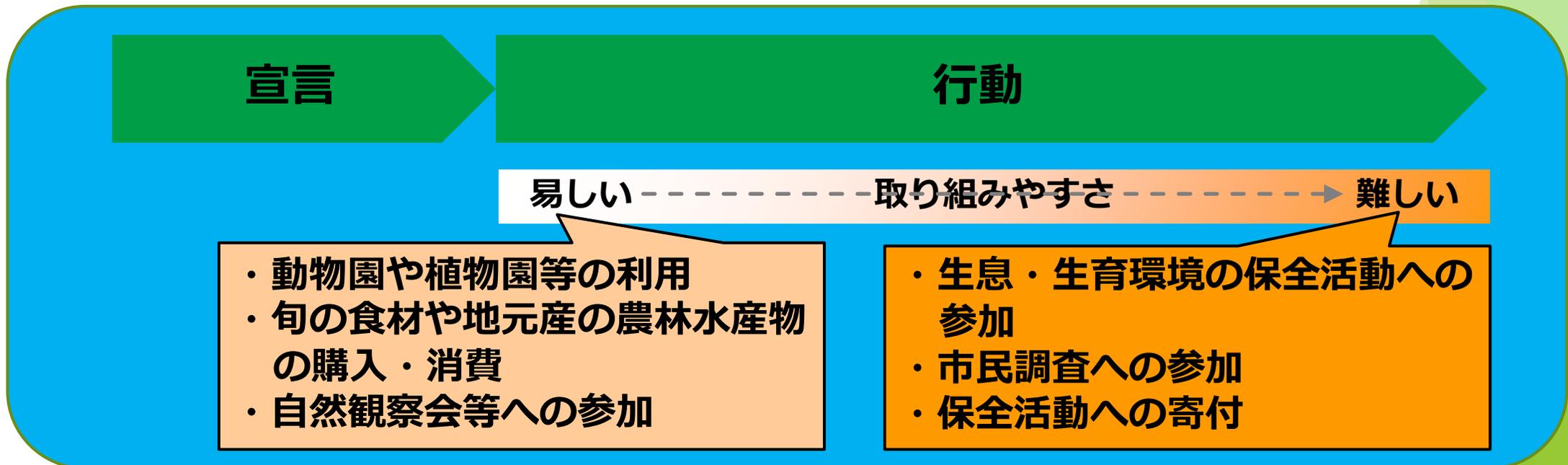


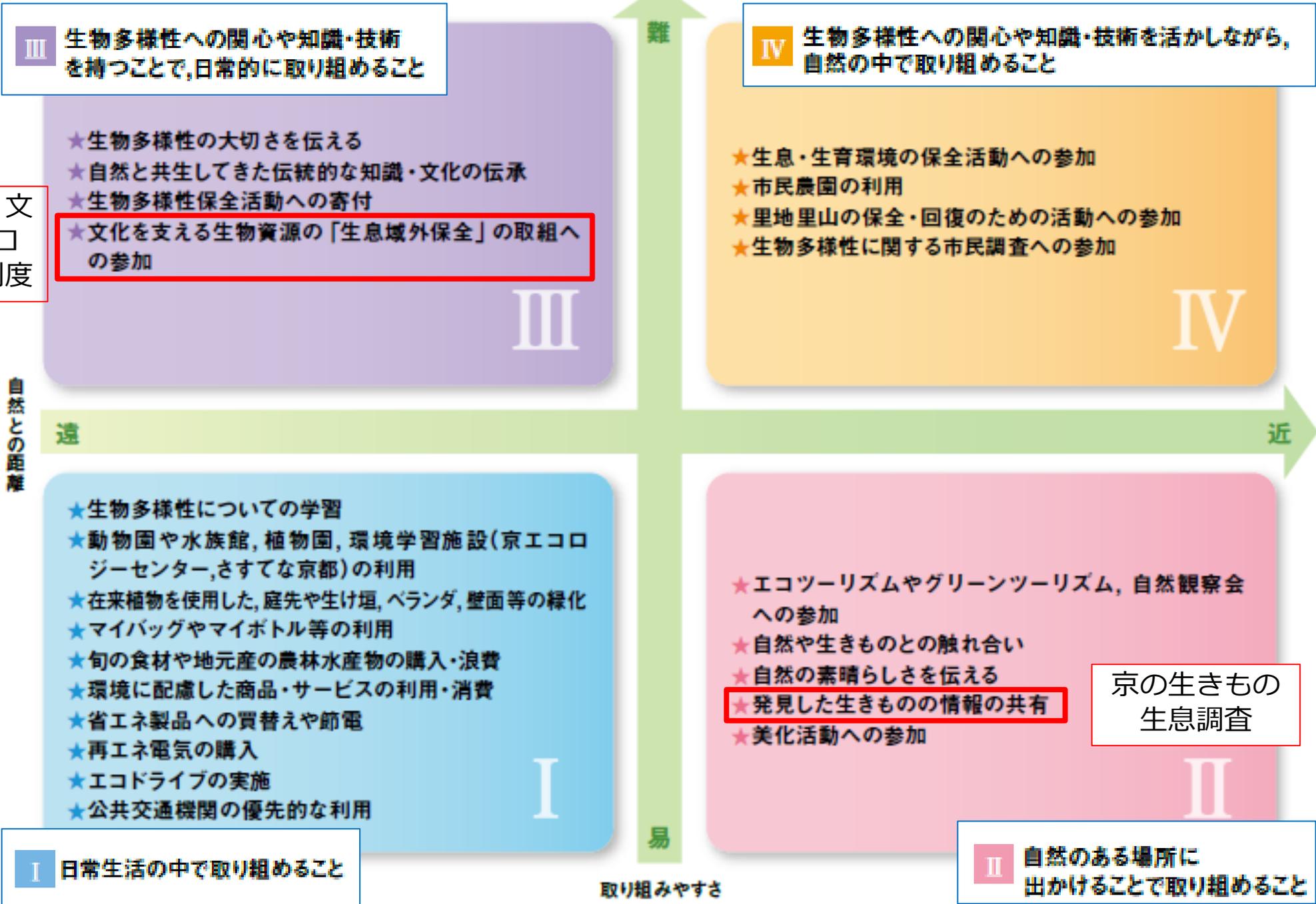
京都市生物多様性プラン（2021-2030）

～目標4：「生物多様性保全の担い手宣言制度（仮称）」の創設～

- ▶ 生物多様性保全のために行動する人（担い手）を増やすため、**様々な主体が取り組める行動例を示し、できる取組を宣言してもらう**
- ▶ **メールマガジン等を通じて宣言内容に応じた情報提供**

＜制度のイメージ＞





京の生きもの・文化協働再生プロジェクト認定制度

自然との距離

京の生きもの生息調査

I 日常生活の中で取り組めること

II 自然のある場所に出かけることで取り組めること

取り組みやすさ

京都市生物多様性プラン（2021-2030）

～目標4：ポータルサイト「京・生きものミュージアム」のリニューアル～

- ▶ 「バーチャルミュージアム機能」
京都の生物多様性に係る**多くの知見を集積し、発信する**
- ▶ 「プラットフォーム機能」
生物多様性に係る市内での**多様な活動事例やイベント等を集約・発信し、各主体による活動を支援するとともに、主体同士又は主体と活動のつながりを促す**



京都市生物多様性プラン（2021-2030）

～活動交流会～

- ▶ 推進プロジェクトを始めとした、市内の多様な地域で進められている取組の御紹介



- ▶ 各取組を共有・交流することで、**取組の更なる推進**や**多様な主体の参画**を促す

